

# シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE  
73

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



● 小出陽子 (Yoko KOIDE)  
● 一級建築士。2000年、UNESCO 遺跡保存オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シエムリアップにレストラン「Cafe Moi Moi」をオープンする。現在は、建築設計とレストラン経営のかたわら、JST (NGO、アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構) を運営し、農村地域の支援活動を行っている。  
● JST ホームページ <http://www.jst-cambodia.net>

## MoiMoi Life in Siem Reap

### Cucumber field of nomadic farmers

It was two years ago when nomadic farmer families came and asked to grow cucumber on our unused land. Once getting our permission, they tilled, furrowed, planted seeds, and built trellis with branches. Fifty days later, all cucumbers were taken to the market, and the families left the land like a flash. Not owning a farm land, the nomadic farmers move around the Siem Reap area to grow cucumbers at unused lands. They sleep in a temporary tent at the farming site. Meals are prepared with fish, frog, and plants from nearby stream. There is always enough food as adjacent forest provides nuts and herbs. Shifting lands may be an effective way to grow cucumber as it is not fit for continuous cropping, but I wonder how they will work out with the environmental and social changes of this country.

## カンボジア遊農民のキュウリ畑

遊牧民ならぬ「遊農民」の一族3家族が訪ねてきたのは、一昨年の雨期の初めのことでした。アンコール・クラウ村にある我が家の遊閑地で、キュウリを栽培したいと申し出てきたのです。了承するや否や、即座に土地を耕し、畝をつくり、種を撒き、枝木を支柱としてキュウリを育てること50日。成長した大量のキュウリを収穫し、市場で売りさばき、あっという間に去つてきました。

聞くとところによると、彼らは土地を持たない農民で、シエムリアップ周辺の使っていない農地を転々としながら、キュウリを作り続けているとのこと。行く先々で、木の枝とビニールで仮設のテントのような「家」をつくり、畑の中で生活をしながら、キュウリの成長を見守っています。テントといつても単にビニールを屋根状に組んだ枝に引っかけ、小枝の重しを載せただけ。雨期の豪雨の下では、ビニールは舞い上がり、びしょ濡れになること間違いなし。濡

れた衣類や家財道具は、昼間に自然乾燥させれば何の問題もない、と考えているようです。食事は、薪を集めて火をおこし、持参した鍋で作りますが、食材は、畑の横を流れる川で捕まえた魚や蛙や睡蓮の茎など。畑に隣接する小さな森に入れば、木の実や香草も豊富に自生しているので、食べ物には全く困らないとのこと。原始的な生活スタイルそのままの農民として生きる彼らに、カンボジアの大地の懐の深さと、人間が本来持つている生きる力を垣間見たようでした。

また、農民は定住しているもの、という概念を打ち破るカンボジアらしい出来事でもありましたが、考えてみれば、連作に適さないキュウリ栽培を行うならば、3カ月に1度ほど土地を替えながら2年周期くらいで農業を行う方がずっと効率的なのかもしれません。とはいえ、今後彼らは環境や社会の変化にどう折り合いをつけながら生きていくのでしょうか…。興味は尽きません。